所属：鳥羽商船高等専門学校　一般教育科

研究タイトル：

# 映画は「歴史」をどう描いてきたか





| | | | |
|---|---|---|---|
| 氏名： | 島 大吾／Daigo SHIMA | E-mail： | shima.daigo@toba-cmt.ac.jp |
| 職名： | 准教授 | 学位： | 東アジア学(博士) |
| 所属学会・協会： | EAJS(European Association for Japanese Studies)、日本映像学会 | | |



| | |
|---|---|
| キーワード： | 映画、歴史、表象、日本イメージ、「反日」映画 |
| 技術相談<br>提供可能技術： | |

## 研究内容：

私の専門は、映画というメディアを通して、歴史的な出来事がどのように「表象」（表現・イメージ化）されるのかを分析することです。歴史上の出来事が映画化される際、作り手は何を選び取り、何を伝えようとしたのか。そして、その映画は観客にどう受け止められ、社会の歴史認識にどのような影響を与えたのかを探求しています。

具体的な研究対象として、アメリカ兵と結婚した日本人「戦争花嫁」や沖縄の「ひめゆり学徒隊」、関東大震災後の「福田村事件」など、日本の近現代史における出来事を扱った作品に焦点を当てています。

私の研究の特徴は、映画作品そのものの分析に留まらない点にあります。原作との比較はもちろん、監督や脚本家の視点、俳優の役作り、さらには当時の映画評までを視野に入れ、映画の「制作過程」と社会による「受容の過程」を一体のものとして捉え、多層的な分析を行っています。

近年は、一部で「反日映画」と評される作品群にも注目し、それらの映画がなぜ、どのようにして特定の「日本イメージ」を形作り、時に論争を巻き起こすのか、その構造の解明を目指しています。この「イメージ」を多角的に分析する視点は、企業の広報戦略や海外向け製品開発における文化的リスクの低減、効果的なブランドイメージの構築に貢献できるものです。

## 提供可能な設備・機器：

| 名称・型番（メーカー） | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |